

しょう しゃ せいさくていげん さ ぽ - た - せいど  
障がい者による政策提言サポーター制度

へいせい ねん ど せいさくていげんしょ  
平成23年度 政策提言書

へいせい ねん がつ  
平成24年3月

さっぽろししょう しゃ せいさくていげん さ ぽ - た - いちどう  
札幌市障がい者による政策提言サポーター一同

# はじめに

わたし だい きぼ ー た ー へいせい ねん がつ さっぽろしちょう  
私たち第4期サポーターは、平成22年5月に札幌市長  
からのいしよくをうけ、しょうがいのある方にとってのちいき  
みちか かだい けんしょう せいさくていげん おこな かつどう  
身近な課題について検証し、政策提言を行うために活動  
してきました。

ちいき かだい じっさい み き  
地域の課題について、実際に見たり聴いたり  
かん しょう しゃしゅうろうしえん しせつ  
感じとったりするために、障がい者就労支援施設に  
でむ こんだんかい かいさい さっぽろし とも  
出向いて懇談会を開催しました。また、札幌市と共に、  
ちいき かんけいだんたい しょう しゃだんたい しみん かた いけんこうかん  
地域の関係団体、障がい者団体、市民の方との意見交換  
おこな さまざま いけん うかが  
を行い、様々なご意見をお伺いしてきました。

うかが いけん じっさい ちいきせいかつ  
お伺いしたご意見をふまえ、実際の地域生活において、  
どのようなことがこま困るのか、どのようなことがたり足りない  
のか、どのようなことがたり足りているのか、どうすればかいけつ  
できるのかなど、みなさんといっしょ かんが  
一緒に考えていくことができ  
よう、このせいさくていげんしょ と  
政策提言書を取りまとめました。

わたし さぼ ー た ー せいさくていげん つう たが  
私たちサポーターは、政策提言を通じて、お互いに  
ささ あ あんしん く きょうせい  
支え合って、安心して暮らしていくことができる共生  
しゃかい まち す いっしょ じつげん  
社会を、この街に住んでいるみなさんと一緒に実現して  
いきたいとおも  
おも  
いきたいと思っています。

へいせい ねん がつ  
平成24年3月

しょう しゃ せいさくていげん さぼ ー た ー いちどう  
障がい者による政策提言サポーター一同

# もくじ 目次

せいさくていげん 政策提言	3
1 ちいきせいかつしえん 地域生活支援	4
2 ぼうさい 防災	7
3 しゅうろうしえん 就労支援	10
おわりに	12
せいさくていげん ぽーたーめいぼ 政策提言サポーター名簿	14
へいせい ねんど かつどうないよう 平成23年度の活動内容	15

- いしよく ひと  
・ 委嘱～人にまかせること。
- けんしょう  
・ 検証～しらべること。

## せいさくていげん 政策提言

せいさくていげん  
政策提言にあたり、しょう ぶくし かん けんしょう てーま  
を「ちいきせいかつしえん ぼうさい しゅうろうしえん  
地域生活支援」、「防災」、「就労支援」の3つにしば  
りました。

か だい かいけつ  
課題を解決していくためには、しみん かたがた  
「しょう しょう じゅうよう  
「障がい」について知っていただくことが重要である  
かんが  
と考えます。

そこで、3 つのてーまについて、「しょう しょう ひと  
しょう しょう ひと  
対する理解促進」の視点から課題けんしょう  
た。した。

# 1 ちいきせいかつしえん 地域生活支援

平成18年4月の障害者自立支援法の施行、平成23年8月の障害者基本法の改正など、障がい者施策に関する制度は、少しずつ改善されてきたと思いますが、いまだ十分といえる状況にはありません。

今後においても、自立支援法に代わる総合的な福祉制度が創設される予定であり、障がい者施策がさらに改善・充実することを期待しています。

しかしながら、いくら制度が充実したとしても、地域社会において、障がいのある人に対する理解や配慮が進まなければ、真の共生社会は実現されないと思います。

身近な地域において、子どもから高齢の方まで、障がいのある人も障がいのない人も、お互いに尊重し支え合うことで、安心した生活をおくることができると考えます。

## 【提言1-1】福祉教育等のさらなる充実

- 障がいのある人が障がいのない人と共に、地域で安心して暮らしていくためには、障がいのある人に対する理解を促進する必要があるため、福祉教育等のさらなる充実が必要です。

○そのためには、学校や企業などに対して、障がい  
当事者自らが体験談などを語るなど、障がい  
当事者も協力しながら理解促進を図ることが  
重要であり、障がい者講師派遣事業（社会福祉協  
議会で実施）をさらに積極的に推進していくべき  
と考えます。

### 【提言1-2】地域福祉活動への関心を高める

- 障がいのある人が地域のみなさんと安心して  
生活していくことができるためには、障がい者  
施策に関する制度の充実だけでは十分ではあり  
ません。
- ボランティア活動、町内会活動、ご近所づきあい  
などを通じた地域での支え合いの重要性につい  
て、今一度考えてみる必要があると思います。
- 地域福祉に関する課題を身近な地域で解決して  
いけるよう、様々な機会やイベント等を通じて、  
市民の地域福祉活動への関心を高めることが  
重要であると考えます。
- 障がい当事者も、自らの課題に関心をもつことは  
もちろん、地域活動に積極的に参加していくこと  
が求められると思います。

【提言1-3】<sup>ていげん</sup> 重度障がいのある方に対する支援のさらなる充実<sup>じゅうどしょう かた たい しえん じゅうじつ</sup>

- 在宅で生活している重度障がいのある方と、そのご家族の方に対する支援を、さらに充実していく必要<sup>ひつよう</sup>があると思<sup>おも</sup>います。
- 障がい福祉サービス<sup>しょう ふうしき サービス</sup>を利用するにも、受け入れてくれる事業所<sup>じぎょうしょ</sup>が少ない状況<sup>じょうきょう</sup>もあります。
- 受け入れが進むような制度<sup>せいど</sup>のあり方を国<sup>くに</sup>に働きかけていく一方、札幌市<sup>さっぽろし</sup>としても取組<sup>とりぐみ</sup>を進めるべき<sup>すす</sup>と考え<sup>かんが</sup>ます。

【提言1-4】<sup>ていげん</sup> 外出保障を目指した移動支援事業等のさらなる充実<sup>がいしゅつほしょう めざ いどうしえんじぎょうとう じゅうじつ</sup>

- 移動支援事業<sup>いどうしえんじぎょう</sup>については、その充実<sup>じゅうじつ</sup>に向け、様々<sup>さまざま</sup>な方との意見交換<sup>かた いけんこうかん</sup>や検討会議<sup>けんとうかいぎ</sup>が行<sup>おこな</sup>われております。
- 札幌市の財政<sup>さっぽろし ざいせい</sup>は厳しい状況<sup>きび じょうきょう</sup>にあるのは十分承知<sup>じゅうぶんしょうち</sup>しておりますが、移動支援事業<sup>いどうしえんじぎょう</sup>の利用対象<sup>りようたいしょう</sup>となる外出<sup>がいしゅつ</sup>の範囲<sup>はんい</sup>に制限<sup>せいげん</sup>を加<sup>くわ</sup>えず、障がい<sup>しょう</sup>のない人<sup>ひと</sup>と同じよう<sup>おな</sup>に外出<sup>がいしゅつ</sup>できる配慮<sup>はいりよ</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>である<sup>かんが</sup>と考え<sup>かんが</sup>ます。
- 精神障がい者<sup>せいしんしょう</sup>に対する運賃割引<sup>しゃ たい うんちんわりびき</sup>の適用<sup>てきよう</sup>が実施<sup>じっし</sup>され、障がい種別<sup>しょう しゅべつ</sup>による不均衡<sup>ふきんこう</sup>が早期<sup>そうき</sup>に解消<sup>かいしょう</sup>されるよう、引き続き国<sup>くに</sup>に働きかける必要<sup>ひつよう</sup>があります。まず、札幌市交通局<sup>さっぽろしこうつうきよく</sup>において、精神障がい者<sup>せいしんしょう</sup>に

たい うんちんわりびき じっし かんが  
対する運賃割引を実施するべきと考えます。

- ふきんこう  
・不均衡～つり合いがとれていないこと。

## 2 ぼうさい 防災

へいせい ねん がつ にち はっせい ひがしにほんだいしんさい  
平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、  
おお かた ぎせい いま ふっこう む さまざま  
多くの方が犠牲になり、今もなお、復興に向けた様々な  
かつどう とりくみ つづ  
活動や取組が続いております。

さいがい ひがい すこ へ ひころ  
災害による被害を少しでも減らすために、日頃から  
ぼうさい げんさい いしき たか ひつよう おも  
防災や減災の意識を高くしていく必要があると思います。

こうれい かた しょう さいがい じ ようえんごしゃ  
高齢の方、障がいのある方など、災害時要援護者に  
たい ひなんしえん ひなんじょ しえん はいりよ かた  
対する避難支援、避難所における支援や配慮のあり方を、  
ち いきぜんたい かんが ひつよう かんが  
地域全体で考えていく必要があると考えます。

- さいがい じ ようえんごしゃ さいがい じぶん かそく ちから  
・災害時要援護者～災害のときに、自分や家族の力だけ  
ひなん むすか ひと  
では避難することが難しい人。

### 【提言2-1】 さいがい じ ようえんごしゃ ひなんしえん が い どらいん しゅうち 災害時要援護者避難支援ガイドラインの周知

- ようえんごしゃ ひなんしえん ちいき かんしん  
○要援護者の避難支援について、地域に関心をもっ  
てもらうことが何より大事であることから、  
さっぽろし けいはつ とりくみ ひなんさきしせつ  
札幌市において、啓発の取組や、避難先施設の  
ぱりあふりー じょうきょう かん じょうほうていきょう  
バリアフリーの状況などに関する情報提供を

じゅうじつ ひつよう おも  
充実することが必要であると思います。

ちいき さっぽろし でまえこうざ かつよう  
○地域においても、札幌市の出前講座などを活用し  
て、ちいきぎょうじ ぼうさいくねん べんきょうかいとう じゅうじつ  
地域行事として防災訓練や勉強会等を充実す  
ることが必要であると思います。

とく あたら じゅうたくち まんしょん  
○特に、新しくできた住宅地や、マンション・  
あばーと おお ちいき ちょうないかいかつどう かんしん  
アパートが多い地域では、町内会活動に関心の  
うす かた すく かだい  
薄い方が少なくないという課題がありますが、  
ちょうないかい ちゅうしん ちいき ふくしじぎょうしゃ いりよう  
町内会を中心に、地域にある福祉事業者、医療  
きかん まんしょん かんりにん ふくし しょくぎょう つ  
機関、マンション管理人、福祉の職業に就いてい  
た方などと協力して、ちいきじゅうみん みずか かだい  
地域住民の自らの課題と  
にんしき ぼうさい げんさい かんしん と く  
認識して、防災・減災に関心を持ち、取り組んで  
いくことが必要であると考えます。

しょう とうじしゃ ちいきかつどう せっきょくてき さんか  
○障がい当事者も地域活動に積極的に参加してい  
くことが重要であると思います。

ばりあふりー たてもん どうろ しょう  
・バリアフリー～建物や道路などにおいて、障がいのあ  
るかた こうれい かた りよう はいりよ せつけい  
る方や高齢の方の利用にも配慮した設計のこと。

## 【提言2-2】福祉避難所の充実

さいがい はっせい ばあい ひなんじょ いどう  
○災害が発生した場合、避難所まで移動することに  
しえん ひつよう かた  
支援が必要な方がいるため、そのような方を把握  
しておく必要があります。また、しょう とうじしゃ  
障がい当事者も、  
ひなんじょ はあく ひつよう  
避難所がどこにあるかを把握しておく必要があ  
ります。

○避難が長期化するような場合には、障がい特性に  
おう ひなんじょせいかつ しえん はいりよ ふかけつ  
応じた避難所生活における支援や配慮が不可欠  
となります。

○障がいの状況によっては、集団での避難所生活  
が困難な方、介助が必要な方がいらっしゃるため、  
この状況に対応するために、学校教室を活用  
するなどして場所を分けるとか、様々な障がい  
特性について専門的に対応できる福祉避難所を  
用意するなど、避難所を整備する必要があると考  
えます。

○福祉避難所は新たに建設するのではなく、地域の  
福祉施設や特別支援学校（養護学校）を福祉  
避難所として活用することも必要ではないかと  
おもいます。

○避難指示や、避難所における情報提供については、  
障がい特性に応じた配慮が必要となります。

### 3 就労支援

障がいのある人が、障がいのない人と同じように、それぞれに合った仕事につけることが大事であると思います。

障がいのある方の就労を推進していくためには、国の雇用施策や就労支援に関する制度のさらなる充実が欠かせません。

さらに、企業など採用する側が、障がい者雇用に理解と関心をもつことが何より重要であり、障がいのある方を受け入れる環境を整えることが必要であると考えます。

#### 【提言3-1】就労支援施設等の活動の周知

- 地域には色々な障がい者就労支援施設等があり、様々な活動が行われているほか、色々な役務サービスや製品の製造が行われています。
- そのような活動が地域のみなさんにも周知され、施設での活動を通じて、障がいのある人と障がいのない人が、つながりをもてるようになることが期待されます。

【提言3-2】<sup>ていげん</sup> 企業等<sup>きぎょうとう</sup> に対する<sup>たい</sup> 障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用の<sup>しょうごよう</sup> 理解<sup>りかい</sup> 促進<sup>そくしん</sup>

- 国<sup>くに</sup> における<sup>しょう</sup> 障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用の<sup>とくみ</sup> 取組<sup>とくぐみ</sup> は、着々<sup>ちやくちやく</sup> と進<sup>すす</sup> んでおりますが、制度<sup>せいど</sup> の充実<sup>じゅうじつ</sup> はもちろん、企業<sup>きぎょう</sup> 等<sup>とう</sup> が障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用に<sup>りかい</sup> 理解<sup>りかい</sup> と関心<sup>かんしん</sup> をもつことが<sup>じゅうよう</sup> 重要<sup>じゅうよう</sup> です。
- 障がい<sup>しょうがい</sup> のある方<sup>かた</sup> の働き方<sup>はたらかた</sup> は色々<sup>いろいろ</sup> あり、その方<sup>かた</sup> にあつた<sup>しょくばかんきょう</sup> 職場<sup>ととの</sup> 環境<sup>のうりよく</sup> を整<sup>はつき</sup> えることで、能力<sup>のうりよく</sup> が発揮<sup>はつき</sup> されます。
- 障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用<sup>しょうごよう</sup> がさらに<sup>そくしん</sup> 促進<sup>そくしん</sup> されるとともに、雇用<sup>ごよう</sup> が<sup>けいぞく</sup> 継続<sup>しよくば</sup> され職場<sup>ていちやく</sup> に定着<sup>きぎょうとう</sup> できるよう、企業<sup>きぎょう</sup> 等<sup>とう</sup> に対する<sup>たい</sup> 雇用<sup>ごよう</sup> 推進<sup>すいしん</sup> のための<sup>しえん</sup> 支援<sup>しえん</sup> をさらに<sup>じゅうじつ</sup> 充実<sup>じゅうじつ</sup> して<sup>ひつよう</sup> いく必要<sup>ひつよう</sup> があると<sup>かんが</sup> 考え<sup>かんが</sup> ます。
- 障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用<sup>しょうごよう</sup> にあたっては、特定<sup>とくてい</sup> の障がい<sup>しょうがい</sup> 種別<sup>しゅべつ</sup> に隔<sup>へだ</sup> たることなく、様々<sup>さまざま</sup> な障がい<sup>しょうがい</sup> 種別<sup>しゅべつ</sup> や程度<sup>ていど</sup> の方<sup>かた</sup> を雇用<sup>ごよう</sup> するべきと<sup>かんが</sup> 考え<sup>かんが</sup> ます。
- 札幌市<sup>さっぽろし</sup> が率先<sup>そっせん</sup> して、就労<sup>しゅうろう</sup> 体験<sup>たいけん</sup> の<sup>きかい</sup> 機会<sup>ていきょう</sup> を提供<sup>ていきょう</sup> したり、障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup> 雇用<sup>しょうごよう</sup> を積極<sup>せっきよく</sup> 的に<sup>すいしん</sup> 推進<sup>すいしん</sup> することが<sup>じゅうよう</sup> 重要<sup>じゅうよう</sup> である<sup>おも</sup> と思<sup>おも</sup> います。

## おわりに

この2年間、障がいのある方をはじめご家族、関係者のみなさまからたくさんのご意見を聴かせていただきました。ありがとうございました。

10区全ての地域自立支援協議会地域部会との出前講座や、市民のみなさまとの意見交換会に同席させていただき、様々な立場の方の意見を聴くことができたことは、大変良い機会になりました。

みなさまのおかげで、この政策提言書を取りまとめることができましたことを感謝いたします。

障がい種別・程度の違いによって、日常生活における課題や感じ方などが異なることがよくわかりました。

お伺いしたご意見の全てをここに載せることはできませんが、サポーターとしてみなさまからのお話はしっかりと受けとめました。

この1年はとくに防災に関心が高まっているほか、白石区では姉妹が孤立死するという痛ましい事例が起きてしまいました。

このような<sup>とき</sup>時にこそ<sup>ちいき</sup>地域における<sup>つよ</sup>つながりを強くする  
ための<sup>とりく</sup>取り組みを進めるべきだと<sup>かん</sup>感じました。札幌市の<sup>さっぽろし</sup>  
<sup>こま</sup>きめ細かな<sup>たいおう</sup>対応を<sup>きたい</sup>期待しています。

<sup>うえだしちょう</sup>上田市長には、この<sup>ていげん</sup>提言の<sup>ないよう</sup>内容について、ひとつでも  
<sup>おお</sup>多く<sup>じつげん</sup>実現していただきますとともに、<sup>しみん</sup>市民のみなさまと  
<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>かんが</sup>考えていくことができるよう、<sup>はいりょ</sup>ご配慮いただけ  
<sup>さいわ</sup>ば幸いです。

<sup>へいせい</sup>平成<sup>ねん</sup>24年<sup>がつ</sup>3月

<sup>さっぽろししょう</sup>札幌市<sup>しゃ</sup>障がい者による<sup>せいさくていげん</sup>政策提言<sup>さほ</sup>サポーター<sup>いちどう</sup>一同

# せいさくていげん ぼ - た - めい ぼ 政策提言サポーター名簿

## だい き さ ぼ - た - 第4期サポーター

にんき へいせい ねん がつ にち へいせい ねん がつ にち  
任期：平成22年5月1日から平成24年4月30日

	し めい 氏 名	しょう しゅべつ 障がい種別
1	○ いまだ まさこ 今田 雅子	しんたい したい 身体(肢体)
2	おかざき ゆうじ 岡崎 勇二	しんたい したい 身体(肢体)
3	◎ くろだ すみお 黒田 澄雄	しんたい したい 身体(肢体)
4	こんどう かずき 近藤 一樹	ちてき 知的
5	さわだ まさあき 澤田 勝昭	しんたい しかく 身体(視覚)
6	まつだ やすこ 松田 靖子	ちてき 知的
7	やまもと ひろゆき 山本 浩之	しんたい ちょうかく 身体(聴覚)
8	わか の ひさよし 若能 久誉	しんたい したい 身体(肢体)

おんじゅん  
(50音順)

◎は代表、○は副代表をそれぞれ表す。

# へいせい ねんど かつどうじょうきょう 平成23年度の活動状況

へいせい ねんど かつどうほうこく  
平成22年度の活動報告

へいせい ねん がつ にち  
平成23年5月17日

へいせい ねんど せいさくていげんしょ ていしゆつ  
平成23年度の政策提言書の提出

へいせい ねん がつ にち  
平成24年3月29日

## いけんこうかんかい しゅつせき ＜意見交換会への出席＞

へいせい ねん がつ にち  
平成23年 6月20日

しょう しゃだんたい いけんこうかんかい しんたいしょう  
障がい者団体との意見交換会（身体障がい）

がつ にち  
7月4日

しょう しゃだんたい いけんこうかんかい せいしんしょう  
障がい者団体との意見交換会（精神障がい）

がつ にち  
8月31日

しょう しゃだんたい いけんこうかんかい ちてきしょう  
障がい者団体との意見交換会（知的障がい）

がつ にち  
9月15日

しみん いけんこうかんかい  
市民との意見交換会

がつ にち  
9月17日

しみん いけんこうかんかい  
市民との意見交換会

## でまえこうざ しゅつせき ＜出前講座への出席＞

へいせい ねん がつ にち  
平成23年 4月26日

ちいきじりつしえんきょうぎかいとよひらくちいきぶかい  
地域自立支援協議会豊平区地域部会

がつ にち  
5月24日

ちいきじりつしえんきょうぎかいみなみくちいきぶかい  
地域自立支援協議会南区地域部会

がつ にち  
6月7日

しょう しゃだんたい  
障がい者団体

がつ にち  
6月14日

ちいきじりつしえんきょうぎかいきよたたくちいきぶかい  
地域自立支援協議会清田区地域部会

がつ にち  
6月16日

ちいきじりつしえんきょうぎかいそうだんしえんせんもんぶかい  
地域自立支援協議会相談支援専門部会

がつ にち  
6月27日

ちいきじりつしえんきょうぎかいしろいしくちいきぶかい  
地域自立支援協議会白石区地域部会

がつ にち  
7月12日

ちいきじりつしえんきょうぎかいしゅうろうしえんすいしんぶかい  
地域自立支援協議会就労支援推進部会

がつ にち  
7月19日

ちいきじりつしえんきょうぎかいていねくちいきぶかい  
地域自立支援協議会手稲区地域部会

がつ にち  
7月22日

ちいきじりつしえんきょうぎかいあつべつくちいきぶかい  
地域自立支援協議会厚別区地域部会

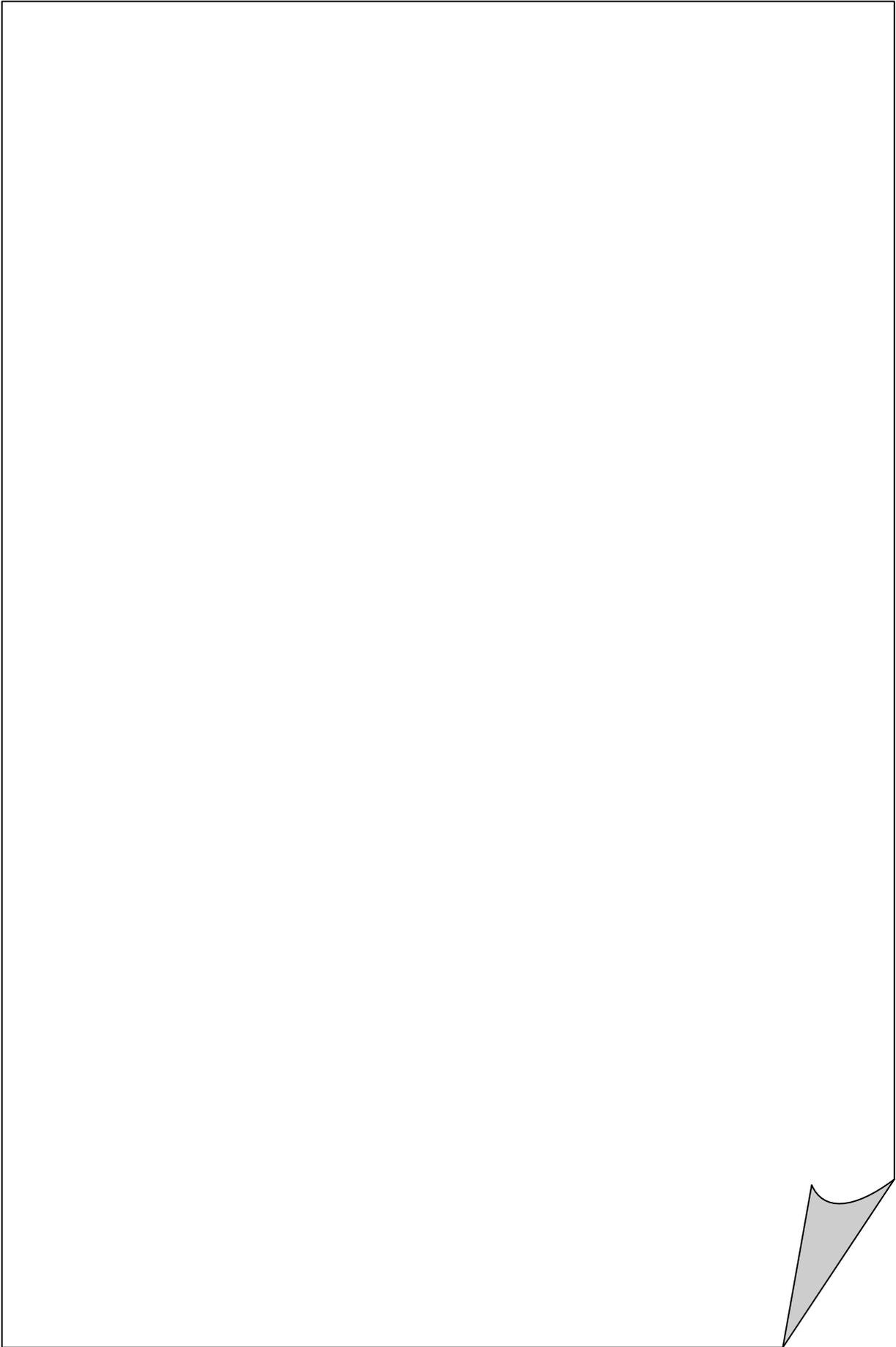
	がつ にち	ちいきじりつしえんきょうぎかいきたくちいきぶかい
	7月25日	地域自立支援協議会北区地域部会
へいせい ねん	がつ にち	ちいきじりつしえんきょうぎかいひがしくちいきぶかい
平成23年	7月26日	地域自立支援協議会東区地域部会
	がつ にち	ちいきじりつしえんきょうぎかいにしくちいきぶかい
	9月8日	地域自立支援協議会西区地域部会
	がつ にち	ちいきじりつしえんきょうぎかいちゅうおうくちいきぶかい
	9月21日	地域自立支援協議会中央区地域部会

**<ミニ懇談会の開催>**

へいせい ねん	がつ にち	じゅうしょうしんしんしょう	じ おや かい
平成23年	7月14日	重症心身障がい児の親の会	

**<打合せ会議>**

だい かい かい ぎ	へいせい ねん	がつ にち
第1回会議	平成23年	4月22日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第2回会議		5月27日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第3回会議		6月30日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第4回会議		8月4日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第5回会議		9月27日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第6回会議		10月26日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第7回会議		11月18日
だいひょう ぶくだいひょうかいぎ		がつ にち
代表・副代表会議		12月16日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第8回会議		12月22日
だい かい かい ぎ	へいせい ねん	がつ にち
第9回会議	平成24年	1月27日
だい かい かい ぎ		がつ にち
第10回会議		2月23日



いけん ぼしゆう  
ご意見を募集しますので、いけんていしゆつようし きにゆう  
きにゆう  
ゆうそう でんし  
郵送、ファクス、電子メールのいずれかの方法で提出し  
ほうほう ていしゆつ  
ていしゆつさき うらめん きさい  
てください。(提出先は裏面に記載)

しょう しゃ せいさくていげん いけんていしゆつようし  
障がい者による政策提言サポーターあて 意見提出用紙

さ つか はんい きさい  
※差し支えない範囲で記載してください。

しめい  
氏名・ふりがな

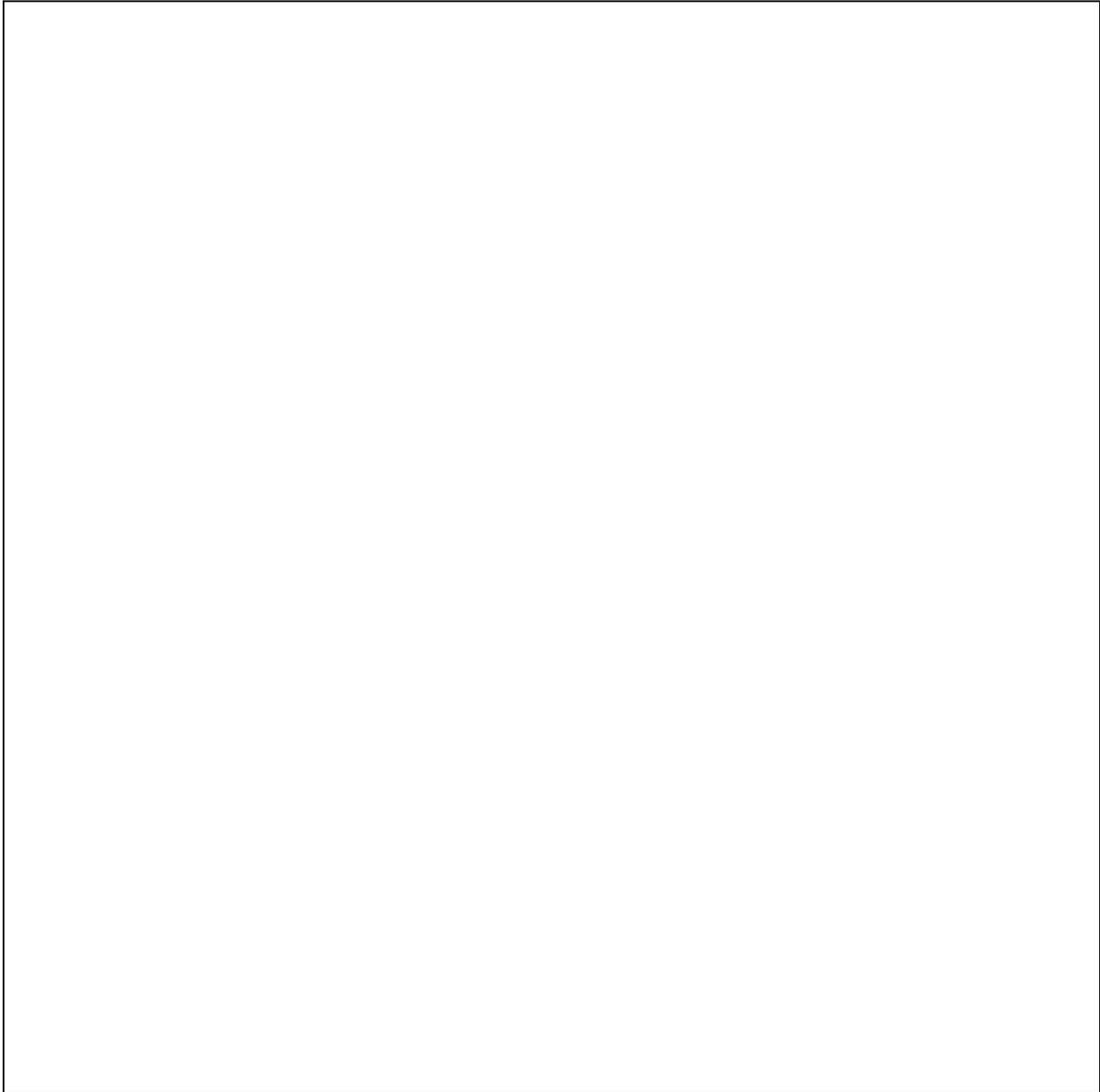
せいねんがっぴ ねんれい  
生年月日・年齢

じゅうしょ  
住所

しょう めい とうきゅう  
障がい名・等級

いけんないよう  
ご意見内容

うらめん きにゆう  
(裏面にも記入できます)



しょう しゃ せいさくていげん さ ぽ ー た ー せいどじむきょく  
障がい者による政策提言サポーター制度事務局

さっぽろし ほ けんふくし きょくしょう ふくしか  
札幌市保健福祉局 障がい福祉課

〒060-8611 さっぽろしちゅうおうく きた じょうにし ちょうめ  
札幌市中央区北1条西2丁目

でんわ 011-211-2936 ふ あ く す  
ファクス011-218-5181

め ー る  
メール shogai.fukushi@city.sapporo.jp